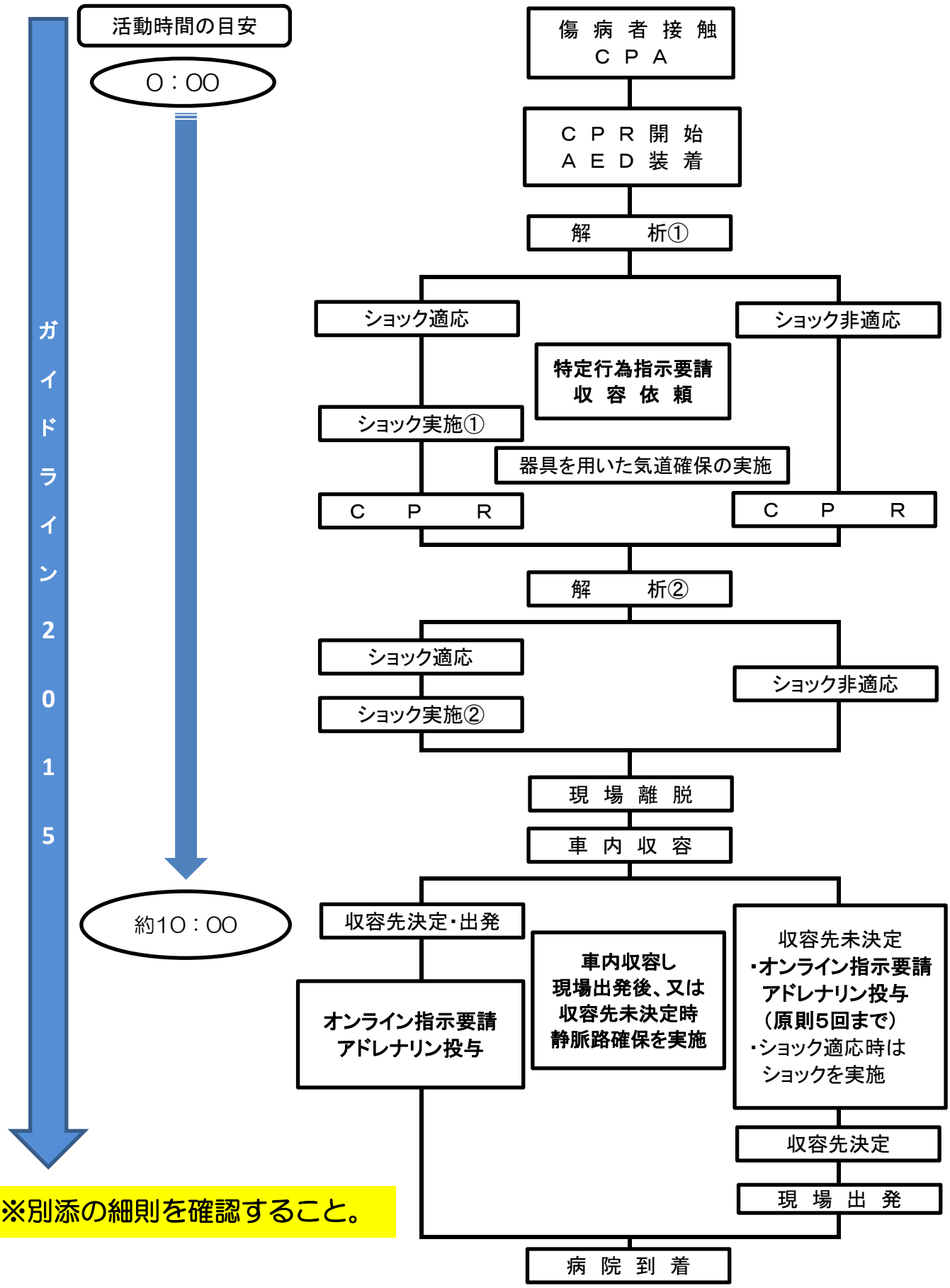
埼玉県東部地域MC協議会

院外心肺停止プロトコール



※別添の細則を確認すること。

埼玉県東部地域MC協議会

院外心肺停止プロトコール【細則】

１　現場活動は１０分を目標とすることを基本とする。
２　換気不良の場合、気道確保を最優先とする。
３　早期アドレナリン投与の観点から、現場での投与を可能とする。
　　ただし、現場滞在時間の延長にならないように努めること。
４　目撃の有無及び初期波形に関係なくアドレナリン投与を可能とする。
５　除細動の包括的実施は原則２回までとする。その後の除細動については
　　医師の指示による。
６　アドレナリン投与は原則５回までとする。
７　特定行為の適応に年齢の上限を設けない。
８　当地域外の救命救急センター、ドクターカー及びドクターヘリの医師から
　　特定行為の指示があった場合は実施を認める。
９　プロトコールは当協議会で承認した最新のものを遵守すること。
　　（過去のプロトコールやローカルルールは効力を失うものとする）